

これが本当のマーケティング！

チラシのイロハ

学習塾の正しいチラシ戦略

「チラシをまいただけでは、もう生徒は集まらないよ。」

こんな塾長様がたの愚痴をどれほど聞いたかわかりません。

確かにその通りです。

一昔前は、チラシを出せば、入塾説明会に50人の行列ができました。

以前は子どもの数が多く、塾業界は売り手市場だったのです。

ところが、現在は少子化の影響と長引く不況で学習塾はチラシをまいても、行列どころか、問い合わせの電話すら鳴らないのです。

そのような厳しい時代の中、それでもチラシを出さないと生徒は集まらない。

そこで、このような症状でお悩みの塾長様方へ、

金岡学習サークルが行ってきたチラシ戦略をご紹介します。

当塾は大阪府の堺市にあり、同じ商圈の中に佐鳴予備校、第一ゼミナール、立志館ゼミナール、ウィン、イング、がんばる学園、明光義塾、住吉ゼミナール、吉永塾、大阪進学スクール、そのほか家塾3件ほどと、それなりに

激戦地区の中で、開校してから2年で120名の人数が集まりました。

生徒の引き抜きや、知り合いの紹介など一切無く、0からの生徒募集です。

どのような戦略で、どのような広告を出したのか？

貴塾の生徒募集のヒントになればありがたいと思います。

金岡学習サークル 榎原貴士

不満を解決の提案をするチラシ

2003年新規開校!

本当の学力をつける塾

金岡学習サークル

グループ・個別指導

一般的な不満

学校の勉強だけで大丈夫?

他塾に通っている生徒の不満

進学塾って短時間で高額?

他塾に通っている生徒の不満

塾に通っても家庭学習が身につかない...

中3・5科目 21,000円
月謝・教材費以外は必要ありません。

どこの塾でも教える内容は同じ?

解決策の提案

後悔しない塾選び
こっそりヒケツを教えます

ヒケツ1 本当の学力がつき、成績アップする塾の勉強法
点数を上げるための勉強か? 学力を上げるための勉強か?

ヒケツ2 子供が勉強するようになる親の心構え5カ条
ただ通わせるより、塾を十二分に活用しましょう。

ヒケツ3 塾に通わせているが、成績が伸びない
「伸びる子」「伸びない子」を教えます。

他塾をよくご見学の上、サークルを見にきてください!
(特に小学生)

3月/13日(木) ~ 3月/22日(土)

個別説明会を実施!

他塾をよくご見学の上お申し込み下さい。
すでに他塾に通われている保護者も歓迎!

FAX申込書

お名前

TEL

学校名

学年

ヒケツをそと教えます(個別説明会) ご希望日時(期) 日 時~ 時、(期) 日 時~ 時)

無料春期講習会 学年(新小4、新小5、新小6、新中1、新中2、新中3、)

お申し込み
お問合せは

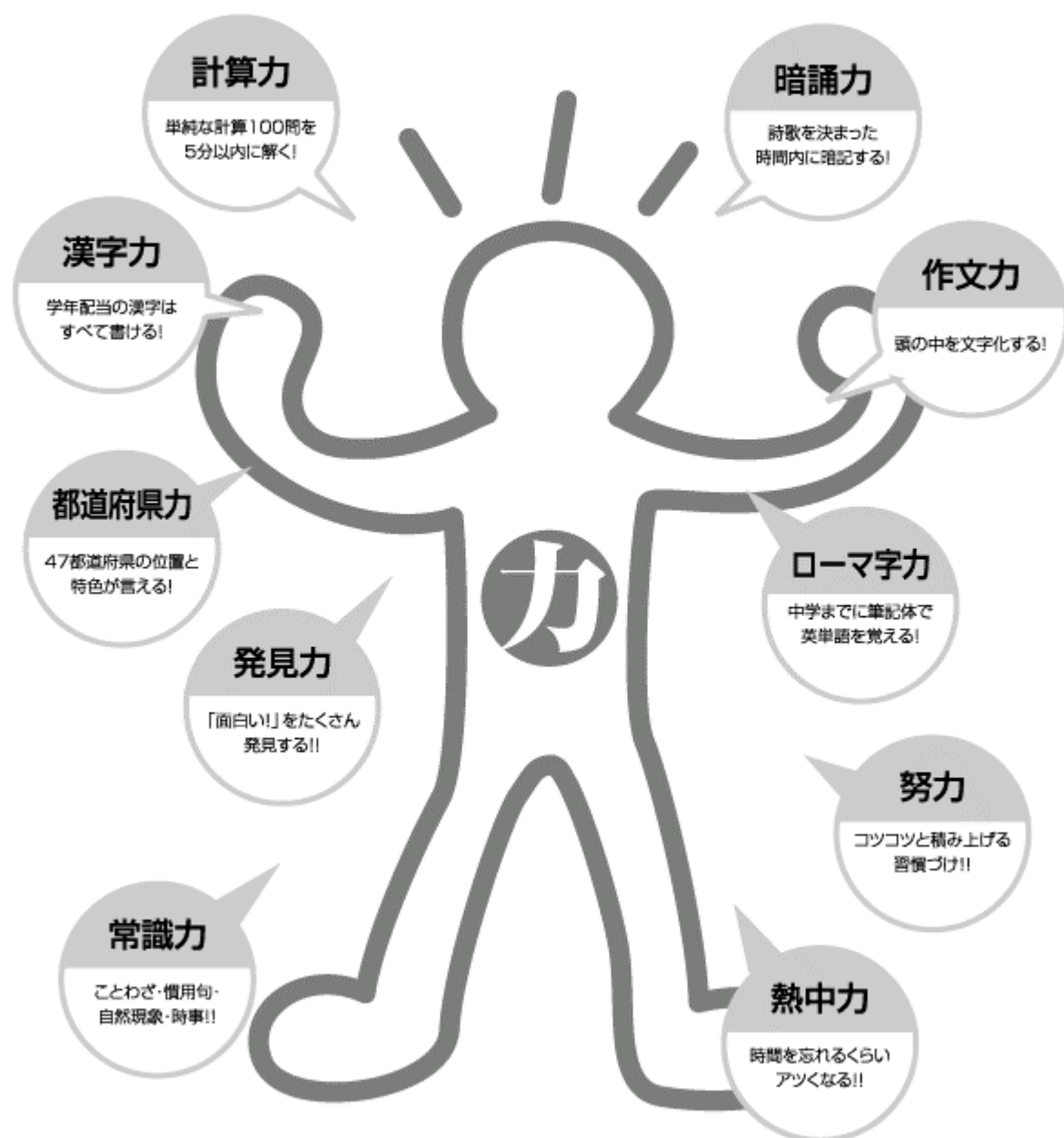
いきなり電話させるよりFAXの方がアプローチしやすい。

ircle.info

中学生になるまでに身につけておく

10の力

チカラ



「子供が中学生になって伸びる土台」を小学生の一番伸びる時期に形成する!!

小学生のお子さまをお持ちの保護者のみなさまへ

教科書は20年前の50%

2002年の学習指導要領改訂から、「学力低下」という言葉が飛び交っています。

実際、小学生や中学生が手にする教科書は年々薄くなってきており、小学5年生の算数の教科書で比較してみると、1974年の教科書よりもページ数だけで言うと、約40%減少しています。

また、活字の大きさも以前のものよりも新しいものの方が大きくなっています。カラーの図やアニメなどの挿し絵が多くなっています。

練習問題なども2割以上減っているのが見てみるとわかります。

内容はというと、1974年の教科書では、ペン図を利用した文章題や分配の法則、つるかめ算や過不足算、旅人算や通過算などが含まれていましたが、現在の教科書にはありません。

現在の子どもに負担のかからないように、また、勉強嫌いににならないように配慮された教科書が現在のものなのです。

学校で行うテストは、全員が80点以上とれるように、誰が勉強が苦手かわかりにくいような配慮がされています。

現在のような教科書で、「落ちこぼれをつくらない」という方針で奪っぺらい勉強しかせず、とにかく中学校へ上げてしまおうとする公立の小学校がたくさんあることをご存じでしょうか？

「勉強をすると差別につながるから勉強はしなくてよい。」

と授業中に先生が生徒たちにいっている都道府県もあるようです。（中国地方）

少し話はずれましたが、このような公立小学校の実態に

気づいている保護者の方は、全体的に少ないのではないのでしょうか？

地域によりますが、早くから気づいている家庭は、

私立の中学校に行かせるために受験勉強を小学4年生頃から始めるようです。

中学受験の問題は、小学校で習わないことばかりのように思われますが、

1974年の教科書の内容を見てみると、習っているのです。

そのころの教科書を元に問題を精選されていたものが、現在の中学受験だとすると、

中学受験が無茶なレベルの問題を解かせているというより、

学校のレベルがどんどん落ちていっていると考えられるのではないのでしょうか？

大阪書籍の教科書のページ数比較

	1974年	1994年	2002年	減少率
5年上	128	99	84	34%
5年下	120	99	68	43%
合計	248	198	152	38%

学習内容

難

A

中学受験

B

格差

C

学校教科書

D

1974

中学受験に出題されるような「旅人算」「過不足算」「つるかめ算」などは1974年の教科書では学習していた。

小5 算数教科書の移り変わり

1974年度	1994年度
<p>1. 数の表し方 整数・小数の表し方 概数(以上・未満・概算)</p> <p>2. 小数のかけ算とわり算</p> <p>3. 三角形と四角形 三角形の角 三角形の集合 四角形の集合</p> <p>4. 考え方(1) ベン図を利用した文章題 あまりのある問題</p> <p>5. 図形の面積 平行四辺形の面積 台形の面積 三角形の面積 いろいろな形の面積</p> <p>6. 文字と式(1) 文字と式・文字と数(代入) 計算のきまり(交換・分配の法則)</p> <p>7. 整数と集合 約数・公約数・倍数・公倍数 偶数・奇数</p> <p>8. 文字と式(2) 文字の公式・Xを使った式</p> <p>9. 考え方(2) つるかめ算(表を使って) 過不足算</p> <p>10. 分数の集合 わり算と分数・倍分・通分・約分</p> <p>11. 分数の計算 分数の足し算・ひき算(異分母) 分数×整数・分数÷整数</p> <p>12. 百分率と歩合 割合・百分率・歩合</p> <p>13. 円 円周と直径・円の面積 おうぎ形・中心角</p> <p>14. 考え方(3) 重なりのある問題</p> <p>15. グラフと割合</p>	<p>1. 整数と小数 整数・小数のしくみ、概算</p> <p>2. 小数のかけ算(小数×小数)</p> <p>3. 小数のわり算(小数÷小数) どんな式になるかな 1単位あたりの量を求める小数の応用問題</p> <p>4. 図形の合同 合同・対応する 合同の図形を書く</p> <p>5. 図形の性質 三角形、四角形の角 平行四辺形などの対角線</p> <p>6. 倍数と約数 倍数と公倍数と最小公倍数 約数と公約数と最大公約数</p> <p>7. 分数 分数と小数・整数</p> <p>8. 分数のたし算とひき算 分母の異なるたし算とひき算 分数と小数のまじった計算</p> <p>9. 図形の面積 平行四辺形・三角形・台形の面積 いろいろな形の面積</p> <p>10. 単位数あたりの大きさ 平均・人口密度 単位数あたりの大きさ(こみぐあい) 速さ</p> <p>11. 正多角形と円 正多角形 円の直径と円周 円の面積 おうぎ形と中心角</p> <p>12. 文字と式 文字を使った式 2つの変わる量($x+y=100$)</p> <p>13. 割合とグラフ 割合の求め方・百分率・歩合 割合のグラフ(帯グラフ・円グラフ)</p> <p>14. 体積と容積</p>

下線・・・小6へ移行 赤字・・・小学校では削除 青字・・・2002年から削除

上記は1974年と1994年の比較ですが、2002年の教科書はさらに削除された内容になっています。2002年の指導要領の改訂で、文部科学省は「新指導要領は指導レベルの最低基準」として、理解の進む生徒にはレベルの高い問題をやらせてもよいとしています。そのような進んだ指導をしている小学校がどれほどあるのでしょうか？